



# 2023 年度学習に関する合理的配慮アンケート報告書 支援者

岡山県 LD 等発達障害親の会はあとりんく

## 1. アンケートについて

### (1) アンケートの趣旨

学びにくさを抱えた子ども達は、苦手な部分が大きな負担となり、学習のペースについていけないことがあります。しかし苦手な部分を補って同じペースで学習を進めやすくすれば、本来持っている力を発揮し学ぶ事ができるようになると言われており、そのためには、一人一人に合わせて「苦手を補う」ための合理的配慮が必要となります。

今回のアンケートは、一人一人が学校でどんな配慮を受けることができたか、受け入れてもらえなかった配慮は何かについて、具体的に回答いただくことで、岡山県内の学校での学習に関する合理的配慮の現状を明らかにしていこうと考えたものです。いただいた回答については教育委員会、自立支援協議会、障害者差別支援地域協議会などへ、生の声として届けることで、現状を知っていただき、改善へとつなげていくことを願っています。

### (2) 実施期間

2023年 6 月 30 日～9 月 30 日

### (3) 対象者について

はあとりんくの会員を中心に、学習支援や療育、教育に携わる方へ回答を依頼しました。

### (4) 調査方法

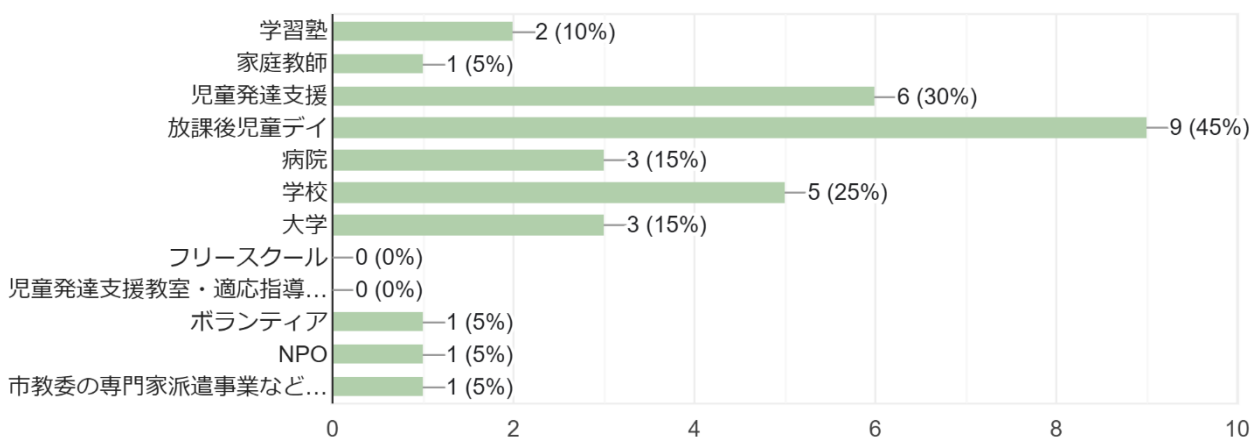
Google フォームに入力。

### (5) 集計に当たって

- ・全回答が20名と少数であったので、記述された内容を一つ一つ読んでいただく形で集計しています。
- ・アンケートの趣旨を明確にするために、質問の趣旨とは違った回答については削除させていただきました。

## 2. アンケート集計結果

### (1) 回答者の所属(複数回答)(20件の回答)



### (2) 関わっておられるお子さんが学びやすいように、工夫されていることはありますか。具体的に教えてください。

(17 件の回答)

#### 学習塾

- ・本人の興味関心をベースに学習範囲を広げていくようにしている。

## 放課後児童デイ

- ・プリントを切って問題の数を減らす。拡大コピー・シリコン製の下敷き・机, 椅子の高さ調整。静かな部屋。カラーファイルでノートにいろをつける。カラーマスノート。その他
- ・本読みをする際に、読んでいるところを指さしたり、読んでいるところ以外を隠したりして読み飛ばしを軽減させる。数図ブロックを使ったり、丸を書いたりして視覚的に分かりやすく計算できるようにする等。

## 児童発達支援, 放課後児童デイ

- ・注意の転動を防ぐ環境の整備。支援内容、方法の最適化の努力等。
- ・その日の課題を書き出して視覚化する、見通しを持ってもらう。本人がどこに難しさを感じているか、課題内容に対して構成要素を細分化、視覚化して共有してもらう。本人の身近な例を参考に説明をする。間違えることを許容できるよう配慮し進める、等。
- ・聞き取りに時間をかけることと、病院での検査結果を確認させていただきながら客観的に利用者の方を見るようにしています。

## 病院

- ・道具などの具体的な提案、学校との交渉。

## 学校

- ・視覚優位なお子さんに視覚的な支援をする。刺激に弱いお子さんには、刺激の少ない環境を用意する。
- ・担任の先生に「例えば〇〇のような配慮や手立てはありますか?」と具体的な例を話すなどをし、イメージを持ってもらい、「これならやってみても…」と言ってもらえる、できそうなどころまで話し合っていく。
- ・学習する事を視覚的に分かりやすく掲示したり、具体物を使ったりしている。個別に合う教材を作っている。
- ・アセスメントをすること。

## 大学

- ・苦手なことに直面する機会となるので、取り組む前に心理的な支援を挟んでから、学習支援を行っている。

## ボランティア

- ・特定の教科しか学校で教えていないので、教えていない教科を教えるようにしている。

## NPO

- ・字を拡大する、内容を絞る、教材を改変する。

## 学習塾, 病院, 学校, 大学

- ・拡大コピー、代読、文節区切り、視覚支援。

## 家庭教師, 児童発達支援, 放課後児童デイ, 大学

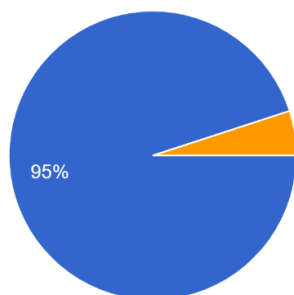
- ・ICT 端末の活用、本人の興味関心のあるものを教材に取り入れるなど。

## 病院, 市教委の専門家派遣事業などで不定期に学校で

- ・認知特性に応じた声掛けや課題の提示の仕方、難易度の調整と指導方法の工夫、「できた」経験を積むこと、自分のやりやすい方法に子供が気付けるような関り。

### (3) 関わっておられるお子さん本人や保護者が、学校へ学習に関する合理的配慮を求めたことがありますか。

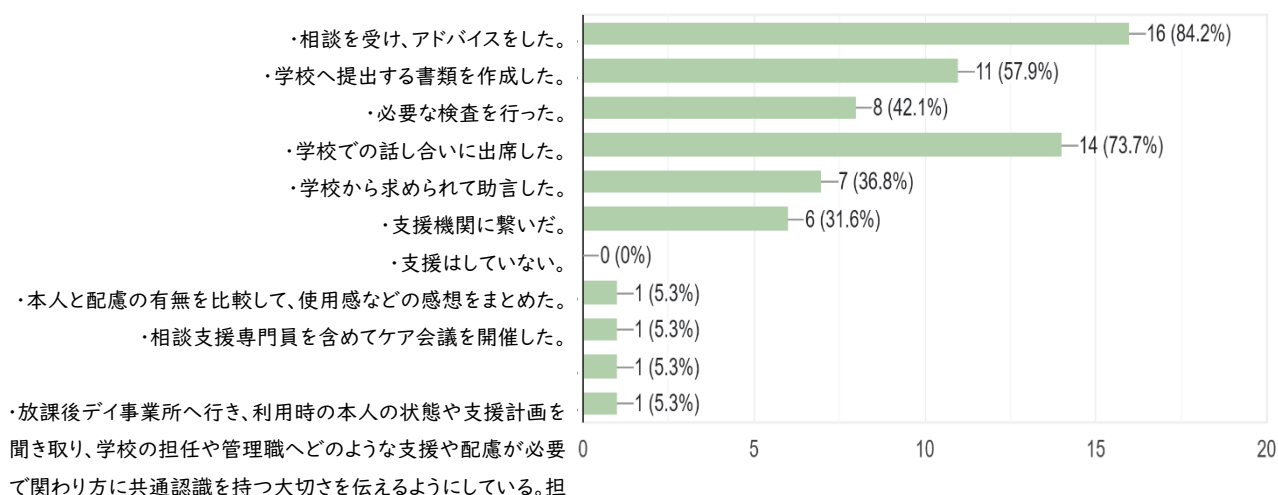
(20 件の回答)



- 求めたことがある (以下4~8も合わせてお答え下さい)
- こちらからは求めてないが学校から提案された (以下4、9も合わせてお答え下さい)
- 求めたことはない (以下4も合わせてお答え下さい)

**(4) 本人や保護者が学校に合理的配慮を求める際、または学校に配慮を求める時以外で支援をされましたか。支援された場合は、どのような支援をされましたか。**

(19件の回答)



**(5) 3で「求めたことがある」と回答された方に質問です。どのような合理的配慮を求められましたか。具体的にお書きください。(18件の回答)**

**学習塾**

- ・ディスレクシアへの個別対応。

**放課後児童デイ**

- ・パーテーションの位置。スケジュールの提示の仕方。問題の出し方。シリコンの下敷き。椅子、机の高さ、材質。その他
- ・漢字が読めない部分はルビをふってほしい。

**児童発達支援、放課後児童デイ**

- ・宿題の量と質の調整、学校での IT 機器の使用。
- ・テスト時間の延長。板書を写真に撮る。文章の読み上げ。
- ・テストの問題用紙の拡大、プリントのルビ打ち、指示を個別で行ってもらうことなど。
- ・板書の軽減、ワークシート使用、使いやすい文房具などの使用、スケジュールの使用、pecs の使用、ワークシステムの使用、リラックスグッズの使用等。

**学校**

- ・大切なことは板書する。わかりやすく短く話す、ホワイトボードで残す。
- ・座席の位置。黒板をノートに書き写すときの配慮。
- ・宿題の内容や量の調節。座席配置や掲示の工夫。伝達などをメモや写メにして視覚的に残るようにする。全体で配慮についての説明で気を付けておきたい前置き(誤解のないように正当性をもたせる)について。家庭と電話連絡、ノートを作る等のお互いが情報共有できるツール依頼。個別の指導計画を担任と一緒に見直ししながら配慮や支援再確認。
- ・音声教材を使う。教材はルビ付きを使う。イヤーマフの使用。

**NPO**

- ・タブレットの使用、ノートの補助、提出物の表作成。

**病院**

- ・筆記具、宿題の量、音読不可など。

**大学**

- ・ノートをとることが難しかったため、タブレット端末(キーボード)の利用を求めた。

## ボランティア

・特定の教科しか学校で教えていないので、教えていない教科を教えるようにしている。

## 学習塾、病院、学校、大学

・板書のしんどさ、書字(漢字、ひらがななど)。

## 家庭教師、児童発達支援、放課後児童デイ、大学

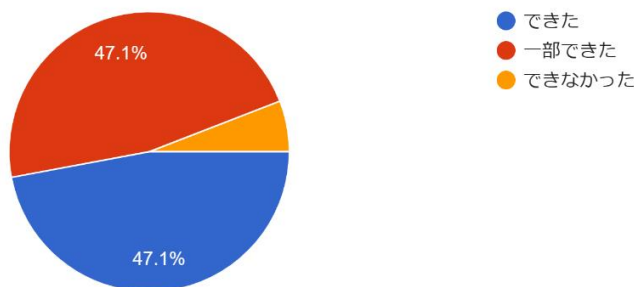
・タブレットの持ち込み、DAISY 教科書の利用、漢字や英単語の小テスト方法の変更、宿題方法の変更、学習者用デジタル教科書の導入、書く活動でのデジタルノートアプリの導入。

## 病院、市教委の専門家派遣事業などで不定期に学校で

・子どもの現状に合った席の位置の工夫、黒板の板書が追い付かないのでタブレットで黒板を写す、宿題を連絡帳に書き写すのをタブレットで写す、持ち帰るものを忘れがちなので終わりのあいさつが終わった時に一緒に確認してもらう、宿題の目的を子供に説明してもらう、宿題の量の調節と難易度の調節をし必ず毎日出すものとの認識を持たせてもらう、多動に対する配慮として椅子の前脚にゴムをかけてもらう、ペンでタッチすると読み上げる機能の付いた音声付教科書の導入、テストでもルビを振ってもらう、別室でのテスト実施と問題文の読み上げ、通常学級でのイヤーマフの使用(誰でも使いたいときに使っていいようにルール化)。

(6)3で「求めたことがある」と回答の方に質問です。求めた内容の合理的配慮を受けることができましたか。

(17件の回答)



(7)6で「一部できた」と回答の方に質問です。できたものについて具体的にお書きください。

(9件の回答)

## 学習塾

・特別支援学級において可能な範囲でのみ学習することにした。

## 放課後児童デイ

・その子用の机、椅子を用意。パーテーションの位置を変える。ファブリーズ。絨毯を敷いてくれた。滑り止めマット。イヤーマフ。

・はじめのうちは対応してもらえたが、学年が変わったり担任が変わったりしたら継続されなかった。

## 病院

・シャープペンシルの許可、宿題の減量、音読なし。

## 学校

・座席の位置や授業での学習課題プリント内容の量、宿題の出し方、板書、タブレット使用。

## 大学

・ノートへの書き取りが多い教科については、タブレット端末の利用が認められた。

## 学習塾、病院、学校、大学

・板書方法の変更(写真をノートにはる、モニターにうつす)、宿題の量の調節、ノートや鉛筆の変更。

## 家庭教師、児童発達支援、放課後児童デイ、大学

・タブレットの持ち込み、DAISY 教科書の利用、漢字や英単語の小テスト方法の変更、宿題方法の変更、書く活動でのデジタルノートアプリの導入。

## 病院、市教委の専門家派遣事業などで不定期に学校で

・子どもの現状に合った席の位置の工夫、黒板の板書が追い付かないのでタブレットで黒板を写す、宿題を連絡帳に書き写すのをタブレットで写す、持ち帰るものを忘れがちなので終わりのあいさつが終わった時に一緒に確認してもらう、宿題の目的を子供に説明してもらう、宿題の量の調節と難易度の調節をし必ず毎日出すものとの認識を持たせてもらう、多動に対する配慮として椅子の前脚にゴムをかけてもらう、ペンでタッチすると読み上げる機能の付いた音声付教科書の導入、テストでもルビを振ってもらう、別室でのテスト実施と問題文の読み上げ、通常学級でのイヤーマフの使用（誰でも使いたいときに使っていいようにルール化） ※上記すべてが一つの学校、またはクラスで実践してもらえたわけではなく、それぞれの学校でいくつかずつ実践してもらえた例です。そのためある学校ではしてもらえたけど、ある学校ではしてもらえなかったというものもあります。

(8)6で「一部できた」と回答の方に質問です。できなかったものについて具体的にお書きください。

(9件の回答)

### 学習塾

・通常クラスでの学習には参加できなかった。

### 放課後児童デイ

・先生によっては、聞いてくれても、実行はしてくれない。7のようなことをつたえても  
・担任や学年が変わると引き継がれなかった。

### 病院

・ノートの個別化、板書を写メで代用、デジタル教科書の使用など。

### 学校

・学校で「皆が理解できるように配慮のことについて具体的に説明」を普段から伝えていくことの難しさ。教員が「～なければならぬ」「今後本人が困る」という意識が強い。

### 大学

・書き取る量が少ないと判断された教科書についてタブレット端末の利用は認められなかったが、プリントを用いるなど書く負担を減らす配慮は受けられた。

### ボランティア

・何ら方針が変わらなかった。

## 家庭教師、児童発達支援、放課後児童デイ、大学

・学習者用デジタル教科書の導入。

## 病院、市教委の専門家派遣事業などで求定期に学校で。

・7すべてが、一つの学校、またはクラスで実践してもらえたわけではなく、それぞれの学校でいくつかずつ実践してもらえた例です。そのためある学校ではしてもらえたけど、ある学校ではしてもらえなかったというものもあります。

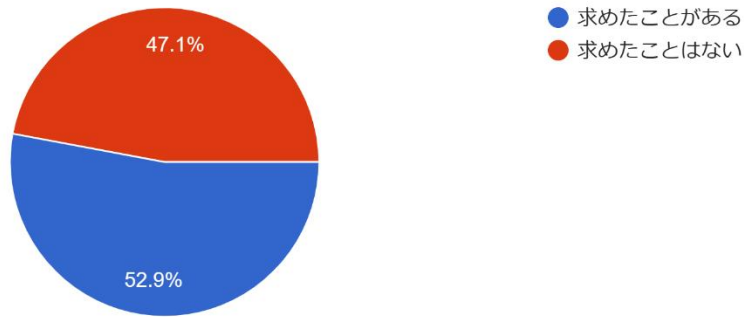
(9)3で「こちらからは求めていないが学校から提案された」に回答された方に質問です。どのような内容か具体的にお書きください。

## 学習塾、病院、学校、大学

・授業の工夫の仕方など

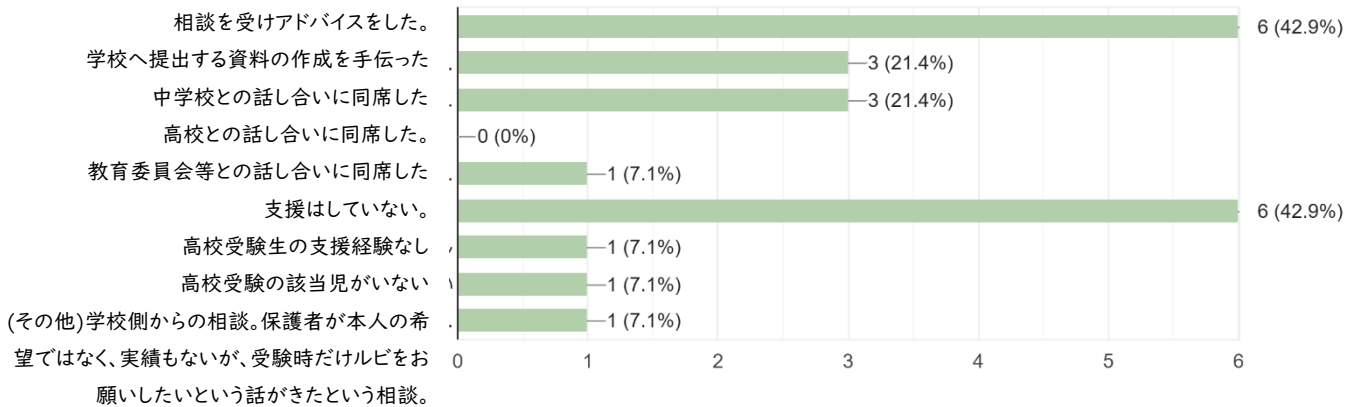
(10) 関わっておられるお子さんが高校受検の際、本人や保護者が合理的配慮を求めたことがありますか。

(17名の回答)



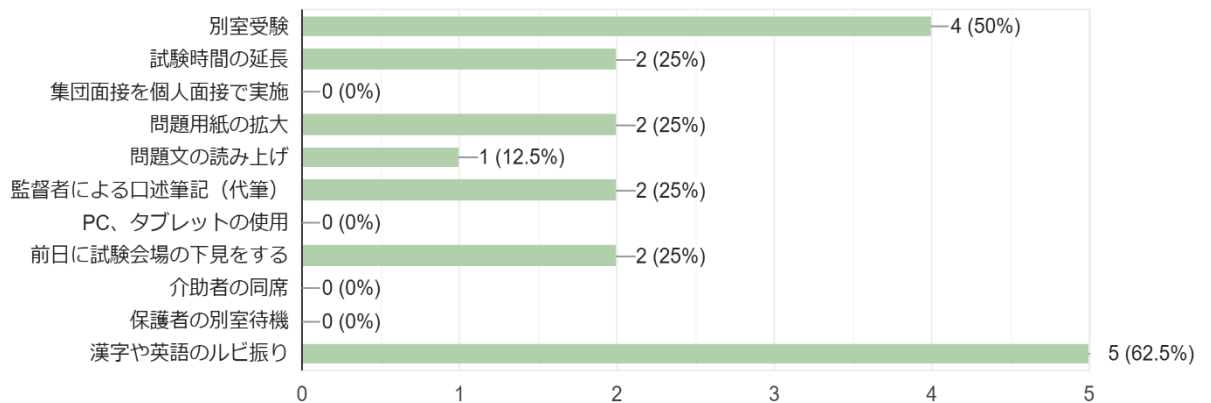
(11) 関わっておられるお子さんが高校受検の合理的配慮を求める際、支援をされましたか。支援された場合は、どのような支援をされましたか。

(14件の回答)



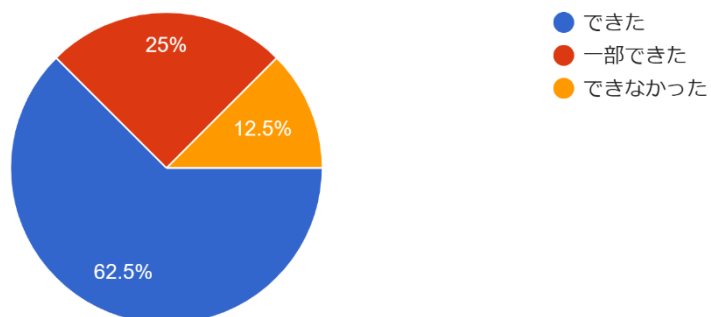
12. 10で「求めたことがある」と回答された方に質問です。どのような合理的配慮を求められましたか。(複数回答可)

(8件の回答)



13. 10で「求めたことがある」と回答の方に質問です。求めた内容の合理的配慮を受けることができましたか。

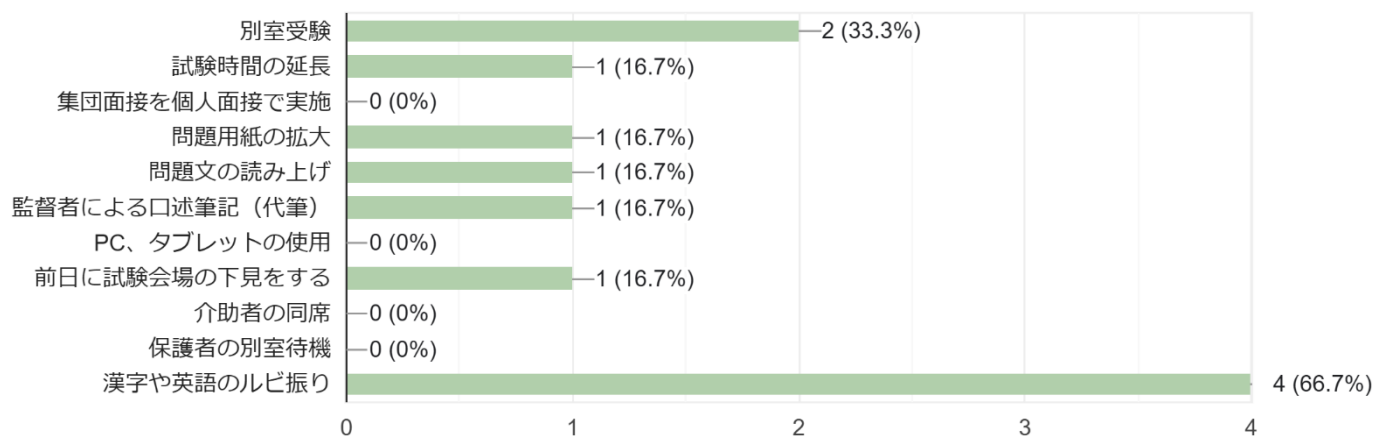
(8件の回答)





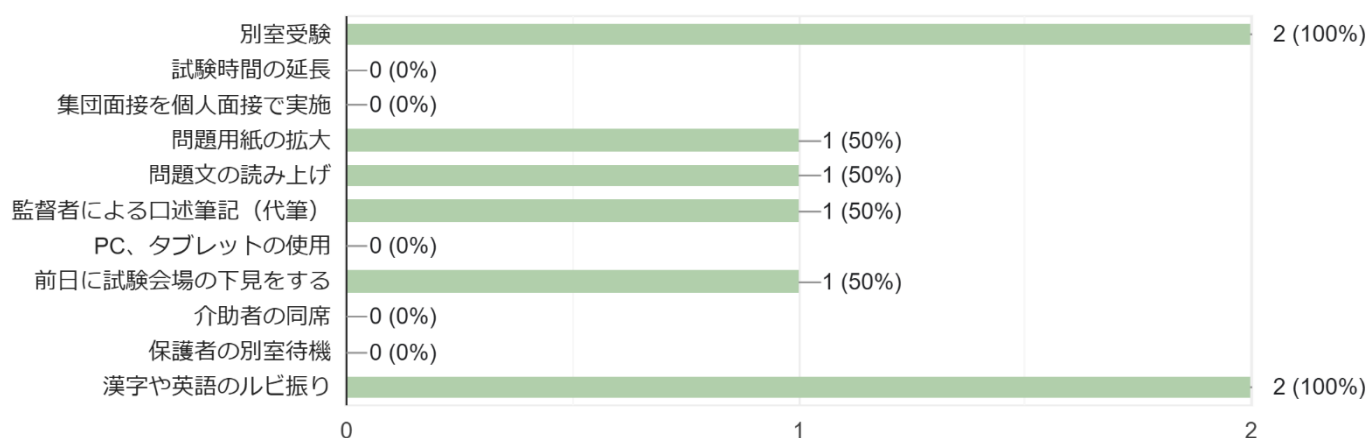
14. 13で「できた」と回答の方に質問です。合理的配慮を受けることができたものは何ですか。(複数回答可)

(6件の回答)

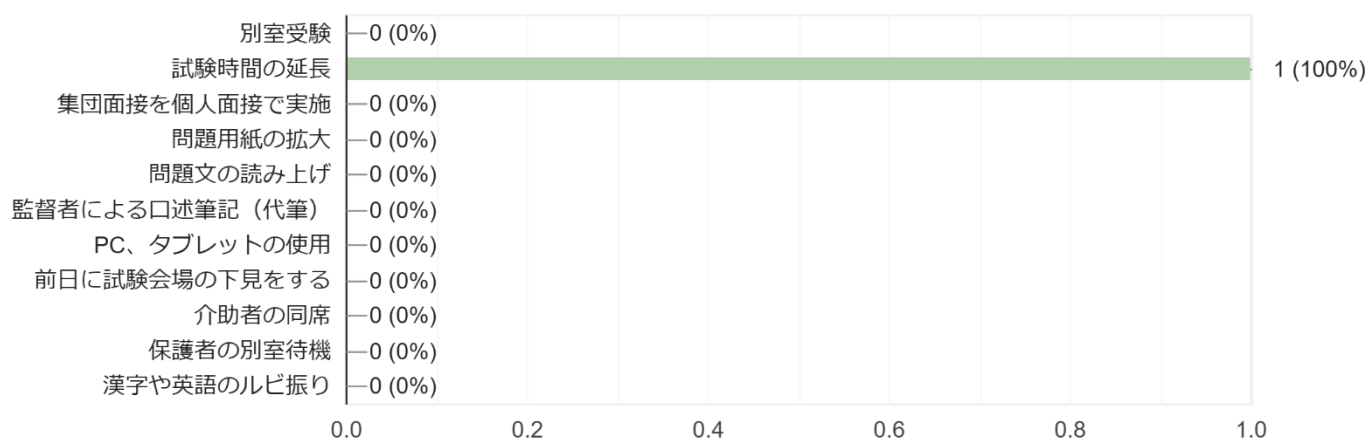


(15) 13で「一部できた」と回答の方に質問です。合理的配慮を受けることができたものは何ですか。(複数回答可)

(2件の回答)



(16) 13で「できなかった」と回答の方に質問です。合理的配慮を受けることができなかったものは何ですか。(複数回答可)(1件の回答)



(17) 学習に関する合理的配慮について、学校や行政に期待すること、要望などがあれば自由にお書きください。

(11件の回答)

**放課後児童デイ**

- ・この学年だからといった決めつけではなく、一人ひとりのペースや力量に合わせた支援や配慮をしていただきたいです。
- ・岡山の教育はおいしい。

## 児童発達支援、放課後児童デイ

- ・難聴児の場合、リスニング免除や代替問題など、お子さん保護者の方と相談の上配慮して頂きたい。
- ・宿題の量が多いことがあり、終わらせることが目的となってしまうこともあるため調整してほしい。
- ・学校の先生が知らずに実績を作れなかったこともあったし、合理的配慮自体何ができるのか知らない方もいる。また、各学校によってできることできないことの差も激しいため統一してほしい。保護者の方に平等に情報が入らないため、学校から具体例など挙げながら共通で情報をつたえてあげてほしい。
- ・合理的配慮では、当事者や保護者がやって欲しいことと、学校なり行政ができることをお互いに提示しあい、その妥協点を探るプロセスが重要だと考えている。その意味において学校並びに行政は真摯に取り組んでいると感じる。学校や行政のどこに相談をしたら良いのかわかりにくい。ごく稀に学校では、初動の段階で組織として対応ではなく、個人での対応となっていると感じられる事がある。

## 学校

・受験に関しては昨年度のことについて答えましたが、配慮に関しては今年度は個別に丁寧に伝えていくよう、連携できる中立の立場(委員会勤務)なので活動していますが、質問の中でどのように答えていいのかわからないか?悩む回答があり、カウントできない結果になればもうしわけありません。ただ、昨年度県立の受験に際し、受験時には配慮をするが、合格した後の配慮の保障はできかねるような話を聞かされた担任は、切れ目のない支援というスローガンのような県の指導は、どこまで浸透?理解されているのか?疑問をもちました。校長先生の理解や教科担当教員の指導等々個人的な思考によって、学びの格差がでるのは大変残念です。

## 大学

・配慮というよりそれぞれの子どもに合わせた対応を受けられる状況がスタンダードになってほしい。

## 学習塾、病院、学校、大学

・覚えることや考えることに焦点を当てた多様な学び方。

## 家庭教師、児童発達支援、放課後児童デイ、大学

・特に中学校以降では、評価方法や入試への懸念が強く、導入のハードルが高いと感じる。個人の判断に委ねられてしまうと、先生方も迷うことが多いと思う。岡山県全体での配慮事例や導入までのステップを発信してほしい。

## 病院、市教委の専門家派遣事業などで不定期に学校で。

・学校単位または担任によって実践してもらえるものとそうでないものがあることが無くなってくれたらいいですね。また小学校から中学校へ進学した途端に配慮が無くなってしまいう現状?文化?は早く解決出されてほしいですね。教科担任制だから各教科の担任が「よくわからないから」という理由やわかろうとしていない風潮は、感じる機会が多いですね。